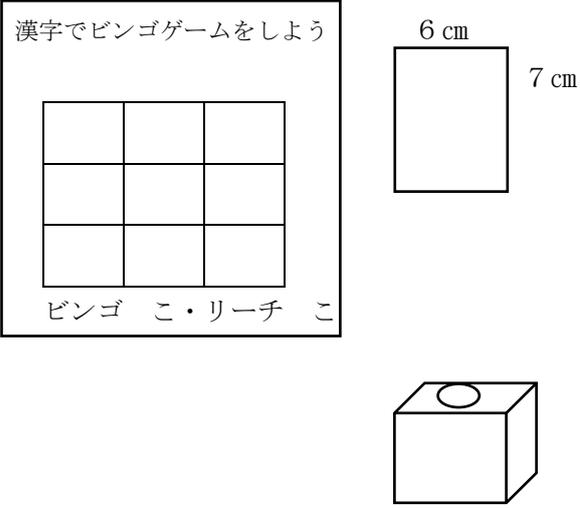
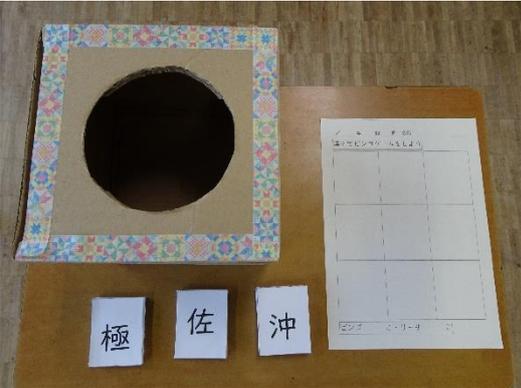


自作教具の活用事例

<p>【作品名】 漢字でビンゴゲーム</p>	<p>【学校名】 日上市立楡形小学校</p>
<p>【活用できる領域・教科等】 自立活動・書くことの指導（へんやつくりに着目させる）</p>	<p>【制作者名】 田中 雅美</p>
<p>【制作の意図】 漢字を書くことが苦手な児童に対し、関心のあるビンゴゲーム活用して、漢字に興味をもてるようにする。また、漢字をへんとつくりに分けて考えることで、違いを意識させる。 漢字カードを見て印をつけることで、眼球運動にもなる。 カードを引く順番を決めることで、コミュニケーションが図れる。</p>	<p>【使用方法】 2人から行う。テーマ（例・彡の漢字など）を決めてビンゴカード・3×3のますに漢字を書く。はてなボックスの中に、漢字のカードを入れておき、カードを順番で引く。引いたカードの漢字が出てきたら、ビンゴカードに○をつけ、いくつビンゴになるか行う。</p>
<p>【制作上の工夫】 ビンゴカードのますを9こにすることにより無理なく漢字を書くことができる。 いろいろな部首のカードを作っておき、学年に応じて使用することができる。</p>	<p>【見取り図】</p> 
<p>【写真】</p> 	<p>【使用効果と応用発展】 小集団でも人数が多くても活用できる。 身近にあるビンゴゲームを使って、漢字に興味をもつことができる。 書字が苦手な児童でも活用することができる。 カードを引く順番などを話し合いながら、役割を交代して活動することができる。</p>
<p>【材料・材質・部品等】 ビンゴカード A4または B5 用紙 掲示用ビンゴカード（ビンゴカードを A3または B4 用紙に拡大） 漢字カード 約縦 7 cm 横 6 cm</p>	